



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2015年7月 No.398

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『楽しくそして魅力ある活動を!』 国際会長 : 『信念のあるミッション (使命・目標)』 アジア地域会長 : 『愛をもって奉仕しよう』 西日本区理事 : 『あなたならできる! きっとできる』 中西部部長 : 『和を以って貴しとなす』	会 長 : 何 早林 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 中村 幸枝 Y連絡職員 : 池田 聡美

Biblical Message of July

主を畏れることは知恵の初め。
 無知な者は知恵をも、諭しさをも、侮る。
 The fear of the Lord is the beginning of knowledge,
 but fools despise wisdom and discipline.
 (箴言 1章7節)

楽しく、そして魅力ある活動を!

何 早林

入会三年目にして会長という大役を任せられても責任を感じています。思えば、19歳の時に初めて日本に来てから、今年は25年になります。日本に来た最初の頃は、言葉も分からずお金の余裕もなかったので、ずいぶん周りの方に助けられました。なかなかお返しも出来ず申し訳ありませんと申し上げたら、してもらったことをいつか誰かにしてあげて下さいと言われました。もうお名前は忘れてしまいましたが、この言葉はずっと心の中で響いています。ワイズメンズクラブに入会した時、ついに僕の番が来たんだと感じました。これから一年間、皆さんとのワイズ活動を心から楽しみにしております。

July Club Meeting

『KICK-OFF/EMC-C』

7月第1例会

- 日 時 : 2015年7月15日(水) 18:45~20:45
 場 所 : ホテルグランヴィア大阪
 司 会 : 何 早林 君
- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 開会 | 芝田 光雄 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 谷川 寛 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 芝田 光雄 会長 |
| 5. 今月の強調月間 | 芝田 光雄 会長 |
| 6. 晚餐 | 一同 |
| 7. 中西部長ら挨拶/方針 | 奥田時夫中西部長ら |
| 8. 会計報告(決算・予算) | 大村 肇 君 |
| 9. 新役員方針発表 | 各役員から |
| 10. 新旧会長交代式 | 司式/中西部長 |
| 11. 新会長挨拶 | 何 早林新会長 |
| 12. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 13. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 14. 閉会 | 何 早林 新会長 |

お誕生日 : 7月=松田メン、坂本メネット

例会担当 : 第2班 =坂本、藤原、中村茂、中村隆、何、松田の各メン

7月第2例会

日時 : 2015年7月22日(水) 18:30~20:30
 場所 : 土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

6月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	15名	11名	6月	0g
例会出席 15名	メネット	5名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	6,434g
0名	ゲ ス ト	2名	0名	切 手	0円
出席率 78.9%	合 計	22名	11名	現 金	0円
					6月: 13,500円
					ファンド 0円
					累 計: 170,470円
					ファンド累計 9,000円

-アメリカ南部チャールストンでの銃乱射事件は、黒人への偏見を動機とするヘイトクライムだった可能性が濃厚です。

-この出来事から、M. L. キング牧師の「私には夢がある」の演説（1963.8.23）を思い出します。

-彼が夢見たのは「かつての奴隷の子孫とかつての奴隷主の子孫が、兄弟愛のテーブルに仲良く座ることができるようになる」という夢でした。「今日も、そして、明日もわれわれは困難に直面するにしても、私には夢がある」と彼は繰り返しています。

(M.L.キング「私には夢がある」。新教出版社 2003年)

(聖句選/コメント 谷川 寛)

6月第1例会報告

と き：6月17日(水) 18:45~20:45

と ころ：ホテルグランヴィア大阪

今期最後の例会は、芝田会長の点鐘で始まり、強調月間「評価・計画」では1年間の締めくくる報告があった。ウクレレクラブ「ハネリマカヒキ」の結成、発表の場づくりは、特に芝田会長の手腕がおおいに発揮された。また西日本区大会での他部を超えた演奏は快挙であった。ゲストを含め22名が参加。

メインスピーカーの中川徹太郎さんは、チャーターメンバーの1人で、アイシン精機で機器の設計や開発に携わり、リニアモーターカーのものも含めると数十の特許権保有者でもある。

中川さんは「特許とボランティア奉仕」と題し、私たちの将来の幸福な生活を実現するための発想法について話した。「100点と99点の違いは何か」「99点には限界があるが、100点には限界がない」「すべてはひらめきがポイント」。そのひらめきは天から降りてくる。「1%のひらめきがなければ、99%の努力は無駄になる」というトーマス・エジソンの言葉を引用、すべてをポジティブに考え、潜在脳から顕在脳に働きかけると、無限の可能性が広がると持論を繰り出した。

水やCO₂の問題、便器の多機能化、またジェネリック医薬品がもたらす医学界の影響など社会的に幅広い問題を提言。理科実験を駆使してのパフォーマンスとその膨大な知識の量に私たちは圧倒された。とても元気になる有意義な内容だった。

(中村 茂高)

≡≡≡≡Club Activities (June, 2015) ≡≡≡≡

On June 17, a total of 22 members, Y's menettes, a Y's ling and guests attended the last meeting of fiscal year 2014-2015. Outgoing President Mitsuo Shibata sum up all the activities during his past term and expressed his deepest appreciation to all members for their support. All members gave him a big hand for his leadership in achieving many goals, especially the formation of our "Haneri Makahiki Ukulele Club."

The highlight of the meeting was a speech made by Mr. Tetsutaro Nakagawa, our charter member and ex-senior expert engineer of the Trial Manufacturing Plant of AISIN SEIKI Co., Ltd., Kariya City, Aichi Prefecture.

Titled "Patent and Volunteer Activities", Mr. Nakagawa spoke about his philosophy of creating new idea for our happy future life. He is a patentee holding tens of patents including the ones of some linear motor car.

He told us a secret of how to create an idea which nobody can think of. His answer is a "flash of wit" in daily life. He went on to say that there are always full of ideas in his dormant brain and that he just put down on paper whatever comes into his brain, as a flash of wit will come to him so suddenly.

He also told us another secret: "don't think anything difficult"! If you would take off your mind brake, you could get a flash of wit at any time.

Sometimes using experimental devices, he disclosed wide range of topics such as food and water supply problems in this world, reduction of CO₂ and vital traffic accident, generic medicine, and Nobel Prize (as a reflection of volunteer spirits), etc. We were all quite overwhelmed by his very enthusiastic presentation and performances. Yen 13,500 was collected from the attendees for our club's Niko-Niko (smiling) fund.



「ひらめきはいつも降りてくる」と熱い中川さん



パフォーマンスで会場はヒートアップ

谷川 寛

旧ソ連圏を構成していた中央アジア・コーカサス地域の国々を対象にした授業を再度担当しました。中央アジアからウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、そして、南コーカサス地域から、アゼルバイジャン、アルメニアからの参加がありました。4年前の東日本の震災の経験を教訓に、「総合防災行政」を学ぶために来日しました。参加者の大半は中年世代です。従って彼らの共通語はいまだロシア語です。

私の英語版「日本経済」のテキストがロシア語に翻訳されました。=下の写真。これらの国々の多くは、旧ソ連圏から独立後20年。エネルギー資源や鉱物資源に恵まれた国々は、順調に経済成長を遂げている一方、目立った産業がなく未だ発展途上の国々もあり、この地域も多様です。安倍首相のカザフ、ウズベクなど中央アジア訪問計画が最近浮上しています。カザフは、地域最大の経済規模を誇り、石油の埋蔵量は世界の1.8%。日本企業は同国へ高い関心を示しています。一方、ウズベクは中央アジアの最大の人口を有し、天然ガスや金、ウランなど豊富な天然資源をテコに経済成長を加速しています。最近の原油安を背景にロシア経済の苦境が深まっていますが、当然、かつての旧ソ連の衛星国にも波及しています。

社会主義・計画経済下で、教育受け育った国々の人々にとっては、日本を含めた欧米型の資本主義、株式会社の仕組、そして現在直面しているグローバル経済の急激な変化を短時間で理解するのは、難しかったようです。アルメニアのようにEUに近い国の人々は、理解度が速く質問的を得ていました。



第18回西日本区大会、南港北で開催！

6月13～14日の両日、大阪市南港北のホテルハイアットリージェンシー大阪で開催。12日19時から別館セレニティーホールで行われた前夜祭では、部を越えたメンバーによるフラチームとウクレレバンド「Maikai」の演奏とフラが夕食会を盛り上げた。大会では山田孝彦メンが理事表彰・奈良傳賞を受賞。当クラブは5部門（Yサ・ユース献金優秀クラブ賞、地域奉仕・環境事業・RBM 献金クラブベスト10、EMC 事業・ノンドロップ賞、YES 献金達成賞、国際交流事業・BF100%達成クラブ賞）を受賞。当クラブは総務を担当した大村メン、司会の藤原メンらメンバーがホストクラブの大阪なかのしまクラブや大阪西クラブをサポートした。芝田会長率いる「Backwoods Mountaineers」バンドが会場を湧かせた。
(中村 茂高)

6月第2例会報告

と き：6月24日（水）18:30～20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村隆、中村茂、藤原、何、松浦、三浦、山田の各メン

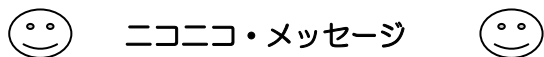
報告/審議事項

- ① 直前西日本区理事松本さんが例会で、西日本区大会の謝辞を述べた。
- ② 奈良傳賞の山田夫妻から、当クラブに多額の寄付をいただいた。
- ③ メネット新旧引継ぎ会 7/11(土)11:45～14:00、Restaurant & Lounge 翔で
- ④ アジア大会IBCクラブへの対応（到着から帰国まで）8/3（月）17:30～19:30 京都がんこ二条苑で歓迎会。その他検討。香港ボヒニアクラブのGorette Chueさんとの昼食会は7/28（火）
- ⑤ 西クラブとの合同納涼例会（ホテルクライトン新大阪）BACKWOODS MOUNTAINEERSとMAIKAIウクレレ・フラ・コーラスグループが出演。8/23（日）正午受付。12:30～15:00
会費：4,000円（料理3,500円。乾杯用500円）追加の必要な人は別途500円。80名。
- ⑥ ハイキング&バーベキュー10/11（日）京阪・星田集合。
- ⑦ 第21回大阪YMCAチャリティーラン 10/12（月・祝）花博記念公園鶴見緑地特設コース
- ⑧ 1泊親睦旅行例会 城崎温泉 11/22-23 椿野旅館（20～30名宴会場も仮予約）10/末締切
- ⑨ YMCA土佐堀サマーセミナー2015 7/26（日）10:00開始 申し込み受付は6/27（土）10:00から 石津メン講師：恐竜が走るプログラムとカバぐるまプログラム
- ⑩ チャリティーファミリークラシックコンサート開催 2016年3/26（土）土佐堀YMCAホール
実行委員会：芝田、中村茂、大村、石津、何の各メン
- ⑪ 山田メン奈良傳賞受賞祝賀会開催 9月のいずれかの土、昼食会

(第2例会議事録より抜粋)



テンポのよい演奏で会場を盛り上げる芝田バンド



ニコニコ・メッセージ

【Messages from the Club Members】

《ビジターからのメッセージ》

○今回は初めての参加でしたが、普段聞くことのない話を聞くことができ、非常に貴重な時間を過ごすことができました。
(佐神浩太郎)

《会員、メネットからのメッセージ》

○斬新な切り口でハットとさせられることが沢山ありました。毎日潜在脳に働き掛けたいと思います。皆様、西日本区大会お疲れさまでした。そして、主人と暖かく迎えて頂き、とても幸せです。
(池田 聡美)

○中川徹太郎さんのお話、楽しかったです。「考える」ということをこんなに楽しく話してもらったのは初めてでした。有難うございました。
(岡本 剛介)

○中川さんの話、大変興味深く聞けました。また例会に参加して下さい。
(坂本 哲朗)

○山田さん、奈良傳賞おめでとうございます。池田さんのご主人が入会されることを期待しております。
(坂本 千春)

○中川様のお話を聞き、古希を過ぎた私の脳の潜在脳に命令して生涯生きてみます。今日は「ここだけの話」をたくさんして下さい、有難うございます。
(芝田 光雄)

○色々の発明とたくさん楽しいひらめきのお話を有難うございました。私も今からしっかり考えるようにしたいと思います。
(隅田 恵子)

○「潜在脳」から「顕在脳」に働き掛けると無限の可能性がある。素晴らしく元気が出るお話を中川さん有難うございました。
(中村 茂高)

○あきらめない脳は本当に大切かも。私の日々に大切にします。
(中村 幸枝)

○中川さんのお話をお聞きすると、この世の中に不可能はないような気がします。世界が悩む水問題、食糧問題、CO2削減の問題などなど、全て解決可能で、世界中が仲良く平和に暮らせるのではと思えるお話でした。今後益々のご活躍を祈念しております。
(藤原 正巳)

○とてもよい話を聞かせて頂きました。これからもっと脳を使おうと思います。
(何 早林)

○中川様の技術力に加えて表現力の巧みさに感服しました。素晴らしい！！ 佐神様、ようこそおいで下さいました。是非これからも池田さんと一緒に例会においで下さい。
(松浦 孝次)

○中川徹太郎さんの特許のお話、大変興味深く聞かせて頂きました。新しい仲間、佐神様の近い入会を大いに期待しております。西日本区大会、実りの多い大会で良かったです。
(三浦 直之)

○このたびの「奈良傳賞」受賞はひとえにセンテニアルクラブの皆様の日頃のご指導とご支援によるものと受け止めております。改めて感謝とお礼を申し上げます。これからも益々よろしく願い申し上げます。
(山田 孝彦)

○久しぶりに徹太郎節を拝聴しました。Inspirationの連続で、流石リニアーマーター特許王の面目躍如たるものがありました。ご遠路お越しいただき、感謝します。
(山中 秀男)

○山田さん、奈良傳賞おめでとうございます。楽しく熱い話を中川さん、有難うございました。小さなひらめきを大切にします。
(山中ちあき)

☆第267回早天祈祷会

日時：7月17日(金) 7:30~8:30
証し：丹吾 礼さん(大阪土佐堀ワイズメンズクラブ会員)
場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル

☆阿波踊り&山の学校体験ツアー

日時：8月12日(水)~8月13日(木)
行先：徳島県徳島市 徳島YMCA(往復貸切バス利用)
宿泊先：ふれあいの里さかもと(徳島県勝浦)
※徳島YMCAの連に参加し実際に阿波踊りを一緒に演舞します。見るだけでなく一緒に踊り楽しめます!

宿泊は廃校になった小学校を地元のみなさんで守られている「ふれあいの里さかもと」です。

地元の旬な食材を使った朝食はとてもおいしく、またこんにゃく作りにも挑戦します。ぜひご参加お待ちしております!

お申込み・お問合せ：YMCAエイジングセンター
TEL:06-6441-0815 FAX:06-6441-0809
先日、表コミ1期生の結婚式に招待いただき、参列してきました。式の最後に卒業生から、両親と表コミに向けて贈られたメッセージ。

「表コミに入る前、なんで産んだんやと、おかんに言いました。でも今この場で撤回します。おかん、産んでくれてありがとう」心強い言葉に涙でいっぱいでした。生徒一人ひとりが変わるその時を、一緒に待ち続けたいと思います。

(池田 聡美)



前夜祭の出番前、Maikai ウクレレバンドの面々

後記

西日本区大会では、クラブとして華やかな大きな賞をもらうことはできなかったが、その中でも山田孝彦メンの理事表彰「奈良傳賞」は光り輝いている。長く地道な努力の中で、ワイズを、また大阪センテニアルを導き支えてきた氏の功績には頭がさがる。さまざまな困難を乗り越え、長く続けるパワーを私たちも見習いたい。

S.N